

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
選択ダンススキル6											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	HIROTO			実務経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
東方神起のツアーダンサー。三代目J Soul Brothers LIVE TOUR 2016～2017 ”METROPOLIZ” 2016年 PKCZ♫× HIGH&LOW PREMIUM LIVE SHOWや「CHAIN BREAKER」「BEDROOM」ダンサー出演など活躍。											
授業概要											
この科目ではステップやコンビネーションを理解し、毎回テーマに沿った振付を通してHIP HOPの表現力を磨く。また振りを踊るうえでの基本的ステップを習得する。											
到達目標											
この科目では基礎を身に付けた上でHIPHOPのフィーリングをしっかりと理解する事を目標とする。アイソレーションやリズムなど基礎技術をしっかりと生かした上でより高度な表現を修得する。											
授業方法											
プロダンサーとしてステージに立つことのできるレベルのHIPHOPダンサーの育成 レッスンで学んだスキルでその場で出来なかったものは必ず次回レッスン時までには練習してくること。											
成績評価方法											
成果発表 平常点	50% 50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
現状のダンスレベルに関係なく、誰でも参加可能です。ただレッスン内容はプロダンサー育成を目的としているため、上級者向けのレッスン内容となっています。初心者の方は自主練集をしっかりと行ってください。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス/HIPHOPについての理解を促す実技演習										
第2回	HIPHOP基礎①/ストレッチ、アイソレーション										
第3回	HIPHOP基礎②/ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング										
第4回	HIPHOP基礎③/曲に合わせてのリズムトレーニング(コンビネーション)										
第5回	HIPHOP応用①/短い振付による動き (HIP HOP)										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
選択ダンススキル 6	
第6回	HIPHOP応用②/短い振付による動き（日本語HIP HOP）取組み方、ビジネス文書の基本について理解する
第7回	HIPHOP応用③/短い振付による動き・発表
第8回	HIPHOP基礎①/テクニック+ルーティーン
第9回	HIPHOP基礎②/テクニック+ルーティーン、コンビネーション
第10回	応用コンビネーション①/短い振付による表現、コンビネーション
第11回	応用コンビネーション②/長い振付による表現方法の学習（リズム、ステップ、コンビネーション）
第12回	応用コンビネーション③/振付による表現（発表準備、踊り込み）
第13回	レベルチェック/応用コンビネーションの振付を用いて技術レベルを確認し、各自の強み・弱みを把握する
第14回	模擬オーディション振り入れ/模擬オーディションに関する振付を覚え、試験に備える
第15回	模擬オーディション/オーディション形式の実技理解度確認を行い、実践に活かせるようにする